

令和8年度 札幌市立啓明中学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：31004

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実 態	課 題
◇「自ら学び、共に高め合い、共感しあう生徒の育成」を目指し、各教科や各種行事等において取り組みを進めてきた。全国学力・学習状況調査では、「課題解決に向け考えをまとめ、対話的な学習を通じ、新たな考え方を身に付け次の学習に繋げていく生徒」「学校生活をより良くするためお互いを尊重しながら課題解決に向けて取り組む生徒」の増加が見られ成果となって表れている。	◇PC・タブレット等の ICT 機器の使用について各教科の授業や総合的な学習等で活用頻度が増えてきているが、自分の意見や考えをわかりやすく伝えることや友達と考えを共有したり比較したりする活動内容の改善が必要であることが全国学力・学習状況調査で表れている。教師向けの研修会や小中連携を図り各教科等で ICT を有効活用し課題解決に努めていく。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇相互承認に関連する項目において固定的な回答が増加していることが、札幌市の共通指標の全国学力・学習状況調査においても明確に表れている。これは、「学校づくりの＜主人公＞として仲間とともに歩む生徒」を目指してきた成果であると考え。「人の役立ちたい、地域や社会をよくするために何かしたい」「学校生活をよりよくするためお互いのよさを生かして課題解決に取り組んでいる」生徒がさらに増加していくよう、生徒が主体的に考え行動できる各種行事や生徒（会）活動の充実、「絆づくり」と人間尊重の精神の醸成等を引き続き行っていくことが重要である。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力	
自ら学び、ともに高め合い、共感し合う生徒の育成	
課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
副主題 ・「学ぶ力」を支える力を育成するための授業づくり ・実践的な課題探究学習を取り入れた授業の実践と研究 ・ICTを活用した授業づくり (1)主体的、対話的で深い学びの実現に向けた、個別最適な学び及び協働的な学びの指導実践を行う。 (2)一人一人が主体的に取り組める課題を設定し、互いのよさを認め、協働して課題解決することで、思考を深め、新たな課題に向かう意欲を高める。	①みんなが幸せになる学校づくり →「＜私＞だけでなく＜あなた＞もまた大切な存在である」ことを実感できる互恵的な関係づくりの場の設定と実践 →「知的好奇心を刺激する学び」「みんなで創り上げていく学び」「多様性を認め、支えあう学び」を実現する学びの場の設定と実践 ②さっぽろっ子サミットと関連を図った活動の推進
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について	
◇主に(1)(2)について、ツールの利点や特色などを事前に説明している。また、複数ツールの中から生徒が自ら選択できるような環境を整備している。研修会において、新たなツールの活用について、各教科において活用しているツールの情報共有等を行う。 ◇主に②について Google form で意見を集約することや、パートナー校と生徒会、児童会の連携のためのオンラインミーティングなど、それぞれの意見が反映されるように活用している。	

＜本プログラムの実行に向けて＞

新年度	【一人一人の教職員】	【学校全体】	次年度へ
◇本プログラム共有 ・職員会議・学年懇談会 ・パートナー校間研修	◇日常の授業・教育活動 ◇各自の研修→札幌教研、年次研修等	◇実践交流・校内研修会（年3回を予定） ◇子どもの育ちを共有・研修会	◇学校評価 ◇成果と課題を共有（2月）